

さっきはごめんね…

4歳児 たんぽぽ組 3月1日(火) たんぽぽ組保育室

困ったなあ～！

トンネルの中で電車走らせたいなあ～！

使いたい！！

アスレチックに使っていいよって言ったもん！



みんなと仲良く遊んでほしいな…

「みんなと遊ぶにはどうしたらいいかな？」と教師が言葉をかけながら子どもたちの様子を見ていくと、「じゃあ、一緒に使おう」「さっきはごめんね」との言葉が聞こえ、早速大きな段ボールの中に入って遊ぶ姿が見られました。新たな遊びに子どもたちは「僕も入りたい」「ちょっとつめて」などと言葉を交わしながら楽しく遊ぶ様子が見られました。



好きな遊びでは、積木を並べたアスレチック遊びやブロックの電車を走らせる遊びなどで楽しく過ごしていました。そんな中、担任の先生はアスレチックの遊びに使えるのではと、大きな段ボールをもってきましたが、他の遊びをしていた子どもたちも段ボールで遊びたいといい、集まって話し合いが始まりました。「電車を入れてトンネルにしたい」「だめだよ、だって先生はアスレチックで使っていいよって言ったもん」などと思いを伝えていました。

<保育の振り返り>

- 段ボールをもってきたことがきっかけになり、自分の思いを伝えたり、友達の意見を聞いて折り合いをつけたりする経験ができ、いい機会だと感じた。
- 段ボールに潜って遊ぶことに満足してしまい、今まで遊んでいたアスレチック遊びや電車のトンネルなどに活用できずに終わってしまった。潜って遊ぶことから次の遊びに展開できるような援助や言葉かけなどを進めていくとよかった。

<育ちの芽生え>

- ④道徳性・規範意識の芽生え ⑨言葉による伝え合い